

年頭にあけて EDX G メンバー各位殿

JA5GZ

小笠原 善一

EDX G の名称 あけてあめでとうございませう。

昭和57年、そして1982年、関西の最高峰、愛媛の霊峰石鎚山
1982m K マツタングに縁起のよい年であります。EDX G を支えていたっている提携クラブの皆さんと愛御世話
になってます、今後も今まで同様何卒よろしく御協力をお願いいたし
ます。

愛媛のDX人口を増し、当時他の地域より遅れていたDX熱さ
高めよう……とのキャッツフレーズにより、27.9.1969 県自治会館に集った
メンバーは、5EF、4S、4Z、HD、OD、VQ、ACF、AUC、BFK、BTW
BYQ、CHF、CYH、YDS(DAT)の14局当日各OMの目標は我々の
小さな一歩が愛媛のDXを大きく飛躍させJA DX界の発展に
寄与できるように という主旨で我がEDX G グループが発足した
のであります。爾来 会長は、5ACF、HCV、4Z と受継がれ
また、Editor は 5GZ、XX、ANP、AUC、AQC、ELM と申送
らひ、メンバーは四巻は勿論JA 全エリアを回り会員数60余
局の大DXグループに発展しました。ちなみにEDX G News
第1号 11. Oct 1969 中ずから2頁で16名の会員に発行された
編集後記の文面を引用しますと、

今回有志の御尽力によりEDX G が発足したことは、小さな一歩で
あるが愛媛のDX界にとつては大きな飛躍であり、他の地域に比べてDX
のアクティビティが低いといわれていたDX界のキーが差し込めばエンジンが
かかった状態です、今後EDX G が発展するが否か……は会員の
アクティブDX Hunting から生み出されるFBレポートにかかっています、否々
とあります。結果としては現状のような大発展となり、発起人
の一人として唯感無量の想いを込めています、この間各会長
始め、特にEditor 各OM 方の御努力にあつためて感謝
の意を捧げます。

ここで今年の課題を一つ !!

手紙8月1日(土) 0900~1500 愛媛県民館で行われる
愛媛県支部発足10周年記念 ハムの日といふことにおいて

「DXコーナー」「CWコーナー」を我がEDXGが担当することになって
います。日程もかなりありますが各OMのFBなアイデアと
御協力をお願いする次第であります。

次々お願いをーっ!!

Editorは無報酬であり、家庭でも良く、職場においても、精神
的、時間的に大きい犠牲を払っています。Edkとしてはレポーター
は神様であります。メンバー一人人間の接触は勿論、ブリテンによる
きずなが最も大である……ということを各位が気にとめていただき
Editorの助人的になりまはう。

1982年初春号に際し去年刊も今年こそオールモードの通信
更け FAX、レポーターや衛星通信等を含めた新しい技術分野
にアタックの会員皆様のFBなハムライフを期待しEDXGが
今後増々発展するよう御協力を申し上げ御挨拶といた
します。

紙面の都合で 次はお柔らく 川柳とゆきまはう。

ハムとは、

リグがある たゞそれだけ ある母指
連休も ワツチばかりで 過ぎりぬ。
省エネの 手始め QRP リグ作る。
Dxer 目につくものは Antのみ。

QSLカード

持病もち ホケットマナーは IRC
せまの家 そんなに集めて どこに置く
コンファーム 法あと意地悪 DXページ

変って DXing とは、

- (1) 1, Dケ. 2, Ant 3, フライト 4, テクニク語学力. そこ
パワーをどこにする ?
- (2) XYLをあきらめさせることなり。
- (3) YL ハンパ. キャンブルより お家安泰 なり。